

令和4年9月21日

新潟工科大学 寄付公開講座 「脱炭素社会に向けて 地域社会に何ができるか？」 開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

新潟工科大学は「脱炭素社会に向けてのグローバルな取り組みはなぜ必要なのか？」「そしてそれはどのような会社を生み出すことになるのか」をSDGsの基礎を学びながら考える全6回の公開講座を、下記のとおり開催します。

つきましては、ぜひ取材いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

【 概要 】

1. 会 場：新潟工科大学 A棟 会議・演習室
2. 対 象：柏崎市民・市内大学生(学生は後日オンデマンド配信可能)
3. カリキュラム：
 - (1) 第1講：10月17日(月) 18:30～20:00
『私たちが置かれている現状を把握する』
 - (2) 第2講：10月24日(月) 18:30～20:00
『脱炭素社会へのグローバルな取り組みを考える』
 - (3) 第3講：10月31日(月) 18:30～20:00
『脱炭素社会への市民(若者)の取り組みを考える』
 - (4) 第4講：11月 7日(月) 18:30～20:00
『脱炭素社会への地域経済変革の取り組み』
 - (5) 第5講：11月14日(月) 18:30～20:00
『脱炭素社会のまちづくりを考える』
 - (6) 第6講：11月21日(月) 18:30～20:00
『柏崎の実践を考える』
4. 講 師：
 - (1) 第1・2・3・6講
新潟大学 人文学部 人文学科
現代社会文化研究科 現代文化専攻 渡邊 登 教授
 - (2) 第4講
新潟産業大学 経済学部経済経営学科 阿部 雅明 教授
 - (3) 第5講
新潟工科大学 工学部工学科建築学系 樋口 秀 教授
5. 参加費：無料

以上

■お問い合わせ

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
新潟工科大学 キャリア・産学交流推進課 佐藤
TEL：0257-22-8110 FAX：0257-22-8123



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

脱炭素社会に向けて 地域社会に何ができるか？ ～わたしたちにできること～

脱炭素社会に向けてのグローバルな取り組みはなぜ必要なのか？
そしてそれはどのような会社を生み出すことになるのかを
SDGsの基礎を学びながら考えます。

会場 新潟工科大学 A棟 会議・演習室 ※P2駐車場をご利用ください
対象 柏崎市民・市内大学生 (学生は後日オンデマンド配信可能)
参加費 無料

第1講

10月17日(月) 18:30～20:00

『私たちが置かれている現状を把握する』

「NHKスペシャル 2023未来への分岐点 特別編 持続可能な未来のために」を素材として、現状を各種統計データで裏づけるとともに、脱炭素社会とSDGsの必然的関係を探っていく

第2講

10月24日(月) 18:30～20:00

『脱炭素社会へのグローバルな取り組みを考える』

各国の脱炭素政策「グリーン・ニューディール」を学ぶとともに、各国企業の取り組みを考える

第3講

10月31日(月) 18:30～20:00

『脱炭素社会への市民(若者)の取り組みを考える』

「BS1スペシャル『クライメート・ジャスティス パリ“気候旋風”の舞台裏』を素材にして考える

第4講

11月7日(月) 18:30～20:00

『脱炭素社会への地域経済変革の取り組み』

脱炭素社会実現における「地産地消」の重要性を確認し、地産地消の活動事例を紹介する

第5講

11月14日(月) 18:30～20:00

『脱炭素社会のまちづくりを考える』

今後の急激な人口減少にも負けない魅力的な地方都市はどのようにつくればよいのだろうか。脱炭素社会のまちづくりとはどうあるべきなのか。両者を考慮しながら、最新の事例をもとに考えてみたい

第6講

11月21日(月) 18:30～20:00

『柏崎の実践を考える』

それぞれが柏崎という地域からの脱炭素社会への取り組みを考える

【講師】 第1・2・3・6講

新潟大学
教育研究院 人文社会科学系 人文科学系列
人文学部 人文学科
現代社会文化研究科 現代文化専攻
渡邊 登 教授

第4講

新潟産業大学
経済学部 経済経営学科
阿部 雅明 教授

第5講

新潟工科大学
工学部 工学科 建築学系
樋口 秀 教授

申込み方法：下記のQRコードからお申し込みください。【締切10月5日(水)】

【問合せ】

新潟工科大学
キャリア・産学交流推進課
TEL 0257-22-8110
E-mail career-sangaku@adm.niit.ac.jp



申込QR



会場案内

※本公開講座は知識普及のための講座です。原子力発電に関する賛否や柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する議論は行いません。